



黒潮



いちき串木野市立串木野中学校

「ONE TEAM TEAM Kushichu」

12月号

令和5年12月1日(金)

年末年始の行事と家族との対話

学校長 森本 信一

早いもので、令和5年も師走の12月を迎えました。年の瀬に向けて、慌ただしい毎日を過ごしていくこととなります。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、2学期に実施した様々な学校行事におきましては、制限も緩和された中で、保護者や地域の方々へ学校の様子を直接見ていただく機会をもつことができ、温かい応援をいただきました。ありがとうございました。来年も引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、冬休みは2週間と短いですが、一年の終わりと始まりを経験する大切な時期です。一年の終わりとして、ご家庭では大掃除や片付けをしたいと思います。これは、一年の終わりに掃除をして、きちんときれいな家庭で新年を迎えたいとする昔からの風習です。ぜひ、片付け等をするときには子供に手伝わせてください。そして、きれいに掃除をした後は、玄関にしめ縄飾りや門松を飾るといった、新年の準備を子どもたちにも体験させてください。鏡餅を飾り年越しそばを食べるときには、今年一年の中で、頑張ったことを各家庭で出し合って、子どもたちをたくさん褒めてください。

大晦日、除夜の鐘が鳴り響く中で、新しい年が始まります。元日は、昔より日本人が一年のうちで一番大切にしている日です。年賀状には元旦と書きます。元旦とは元日の朝という意味です。年賀状は一月一日の朝に着くのが礼儀と言われているので元旦と書きます。三が日は、元日から3日間のことを指します。国民の祝日は元日ですが、官公庁や一般企業もこの3日間は休みのところが多いようです。この間に、家族で初詣に出かけたり、親族が集まったりします。

お正月にお雑煮が食べられるようになったのは平安時代ごろからだそうですが、その年の歳神様にお供えたお餅や野菜などを食べることから始まったそうです。日本各地でお雑煮の作り方は違うので、各家庭のお雑煮の味もいろいろあるでしょう。

年末・年始は、家族みんなで一緒に食事をしたり出かけたりすることがたくさんありますから、ぜひその機会に学校であったことや今年の抱負などを話題にしてほしいと思います。

来年、串木野中学校がさらに飛躍を遂げる年になるために、生徒の自主性や良さを最大限に引き出し、身に付けるべきことをしっかり身に付けさせ、どこの生徒にも見劣りしない素直で素晴らしい生徒に育てていきたいと思っています。そのためには、生徒、職員、保護者、地域の方の気持ちと力をついに「チーム串中」として進んでいくことが大切です。来年のこの時期に、とっても良い1年だったと語れるように、これからもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【校訓】	【めざす生徒像】
勉学	自主的・継続的に学び、自分の良さを伸ばす生徒
健康	心身ともに健康で、明るく、人間性豊かな生徒
責任	決まりを守り、義務を遂行して責任を果たす生徒
礼儀	あいさつを正し、品位を保つ生徒
勤労	働くことの大切さを自覚し、進んで協力し奉仕する生徒